



## 福島県広報誌「ゆめだより」に 本校の記事が掲載されています



10月1日に発行された福島県広報誌「ゆめだより」2014年10月号に、本校の記事が掲載されています。

子供の“ゆめ”を実現する企画で、「ソーラーカーを運転したい!」という小学生に若松一高の日本一のソーラーカーを実際に運転してもらった様子が紹介されています。後日、その小学生から丁寧なお礼状もいただきました。

「ゆめだより」は全県に配付されています。会津若松市では市政だよりと一緒に配付されています。[ネットでも公開されています](#)ので、ぜひご覧下さい。

みらい

# 未来ひろば

子どもたちの元気で心温まる声などをご紹介します。

子どもたちの“ゆめ”応援します!

子どもたちの“ゆめ”をカタチにする応援をしていくコーナーです。今回は、会津若松市の渡邊幸多郎くん(小学3年生)の“ゆめ”をかなえます!

幸多郎くんのゆめ

「ソーラーカーを運転してみたい!」

“ゆめ”募集中!  
詳しくは11ページをご覧ください。

そこで… 若松第一高等学校のソーラーカーに乗せていただきました!

今回、協力してくれたのは、学校法人若松第一高等学校自動車科の秋山教康先生と学生の皆さん。若松第一高等学校は、全国電動カート創作コンテストで全国制覇を果たした実力校なのです。

**秋山先生** 今日はいろんなソーラーカーを準備しました。どうして太陽の光で車が走るのか簡単に説明しますね。

パネルを見ながら仕組みを学ぶ幸多郎くん。

**幸多郎くん** 光で車が動くのすごいな〜。

いよいよ、ソーラーカー「若一号」が登場。倉庫のシャツ

ターが上がると、あまりの大きさに驚く幸多郎くん。幸多郎くん専用プレキを調整して、さっそく運転開始です。

**秋山先生** プレキはこのレバーを引いてね。  
**幸多郎くん** はい!

前進、バックと運転をこなす幸多郎くん。年に数回しかお披露目されないという『若一号』は、なんと小学生初の試乗運転だそうです。妹の幸和子ちゃん(小学1年生)、幸希子ちゃん(3歳)も応援!

**秋山先生** 運転してみてどうだった?  
**幸多郎くん** スピードが出たときは少しびくりました。でもとっても楽しかったの、また乗ってみたいです。

— 幸多郎くんに感想を聞いてみました。

**幸多郎くん** テレビでソーラーカーを見てからずっと憧れていました。思っていたより長くて大きいので驚きました。車が好きだから操作がとっても楽しかったし、太陽の力で動く車やラジコンを実際に見て感動しました!

ソーラーカーに触れて幸多郎くんの車に関する興味が大きく広がったようです。将来は、幸多郎くんの設計した車に乗ることができるといいですね。

前列: 右から幸多郎くん、幸希子ちゃん、幸和子ちゃん、お母さんの文庫さん  
後列: 若松第一高等学校の皆さん